





2019年度 大分県高等学校新人登山競技大会 登山競技(縦走) 成績表(歩行技術)

歩行	No	学校名	東尾根下り①	東尾根下り②	東尾根下り③	柳ヶ水分岐下	岳麓寺駐車場	配点	順位	
			2.00	2.00	2.00	2.00	2.00			10.00
A隊	男子	1	竹田	1.50	1.50	2.00	1.50	1.50	8.00	1
		2	大分工業	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2
		3								

歩行	No	学校名						配点	順位
C隊	女子	1							
		2							
		3							



















## 2019 新人大会 講評

審判長 田北篤史

選手、監督、役員、補助員のみなさん、3日間にわたる登山行動、お疲れさまでした。天候に恵まれ、気温もちょうどよく、絶好の登山日和の3日間。日頃の行いに感謝しましょう。今大会は、選手やパーティーの数が少なく、やや寂しい大会になりました。C隊女子チームが参加校なしというのは、ここ数年ではなかったと思うのでもっと寂しいですね。そんな中、大きなけが等もなく大会を終えたのは、選手皆さんの力もありますが、役員や補助員の方々の支えがあったことに感謝します。

次に、審査員の先生方の報告をもとに、項目ごとに大会の講評をいたします。

**【体力】** 隊離脱するチームがあり残念でした。いつもの部活動では、ランニングや歩荷で体力を鍛えていると聞きました。山での体力は単に運動機能だけではなく、前日の睡眠や夕食朝食の食事、登りの歩行技術など、様々な要素が必要とされます。テントで幕営をしてコンディションを調整する方法を見つけてください。また、ザックや装備の工夫が、体力に余裕を作ることがあります。装備の軽量化、パッキングの工夫、背中とザックの間の隙間をなくす（肩からのひもを締める）などなど、ちょっとした工夫が山での体力に力を与えてくれます。

**【歩行】** 概ねよかったです。今回、多くの熟年(?)登山者が多くみられましたが、下りの技術は高校生以上だと感じました。登りは体力ですが、下りは経験値です。歩行は山の中でしか上達しないと思います。近くの里山でも良いので、山の中を歩く練習をしてみてください。最後は林道や車道でしたが、パーティー内の間隔があいたり、やや横に広がる場面がありました。広い場所でも、4人1列で歩くようお願いいたします。

**【装備】** 今回雨は降りませんでした。防水は非常に重要です。1度使った後に袋が破れて防水できていないようであれば、減点対象になります。また、今回は行動後にパッキングバランスを審査しました。パッキングバランスが悪いと、体力の消耗が速く、歩行バランスも悪くなります。「ザックの締めるところは締める」「軽いものが下、重いもの（や、山中で取り出すもの）が上」は基本中の基本です。テント内での素早いパッキングも含め、練習してください。

**【設営撤収】** どのチームもよく練習していることがわかりました。今回は良いコンディションでしたが、悪いコンディション（雨、強風など）時も想定して、練習してみてください。

**【炊事】** 減点はしていませんが、ガスカートリッジおよびコンロの扱い方が、見ていて危ない様子が見られました。火がついているときは必ず管理者をつけると同時に安全に使用する技術も身につけてください。炊事の練習は学校でもできるので、ぜひ練習してください。

**【天気図・課題テスト】** 勉強不足は否めないです。出題範囲は決まっています。共通課題テスト以外は、どの山域でもほぼ同じ内容であるので、定期的に部活動の中で学習してください。

**【計画書】** 概ねよかったです。今回、断面図の比率（水平距離と高度の比が1:4~1:6）をみました。

もちろんよかったです、そのようなことも審査基準にありますので、意識してください。

**【行動記録】**『主要地点の出発・到着時間、または通過時間、天気、コースの概況、自然観察、体調の記入』が審査細目です。主要地点とは、日程表および予報に記載されている地点を指します。読図用のポイント（今回ではCP2とか）は主要地点ではないので、記入する必要はないです。上級大会では、「そこ書かんといけんの？」というところを審査したりします。まず、主要地点がどこか意識して下見してください。

**【読図技術】** ずばり、CPの場所は、ピークや沢、鞍部、尾根筋や谷筋、顕著なカーブなど地図上で分かる箇所に置いています。下見に入る前に、地図を見て、ここが出るんじゃないかという箇所にチェックを入れて登るとよいでしょう。いわゆる『合澤地図』は地点確認に有効ですが、自分たちでそれを作れば、より有効になります。

**【態度・マナー】** 時間の厳守や休憩時や登山中のマナーを審査しました。全チーム満点でした。素晴らしい。今後も山や仲間たちにやさしく登山行動を心がけてください。

最後に、今回の審査は、「全国高等学校登山大会〈審査基準と指導項目〉」および「全国高等学校登山大会審査確認事例」に基づいて行っています。顧問の先生が**【登山部報】**を持っていると思います。その中の9ページ分です。これがルールブックです！自分たちがしている競技のルールは知っておくべきです。

今大会は、新人大会ということもあり、審査内容はかなりやさしめにして初歩的な内容にしました。県大会では皆さんが成長していることを信じ、より高度な内容の審査にしようと思います。これから県大会までどのように過ごすのか。もちろん山の楽しさを存分に味わってほしいですが、登山技術が向上する練習をしていただくことを願っております。また、部員やチーム数が増えることも期待しています！